

- ◆日時： 2013年9月7日（土） 14時～17時
- ◆場所： 諫早市 勤労福祉会館
- ◆内容： 京都セミナー報告会
 カリキュラム作り
 2013年度総会
 定例会のようす 京都セミナー報告

記念講演の報告



山梨県立大学人間福祉科 西澤 哲さんが「子どもを取り巻く性的虐待を中心
に」をテーマに講演

会員のみなさまにはパワーポイントの配布資料をお送りしています。

安定的な家庭を実感できない子ども、例えば性的虐待やネグレクトに遭遇した子どもは、
性的問題行動だけでなく、自傷行為など精神科症状を呈することも。

この中で、「レイプはセックスではない。暴力である」という言葉が心に残っている。

村瀬幸浩さんの理論講座

今なお性教育から取り残されている感がある、「男子の性」の話。

「射精」を恥ずかしい、汚らしいと思う約20%の男子の存在をどう見るか？

ここから、そう思う理由、自己嫌悪の分析をして性教育へつなげていく。「射精は生きにく
い人生を生き抜くためのごほうび」という言葉は、とても分かりやすい表現だと思った。

多様な性を考える模擬授業

高校の模擬授業ですが、多様な性のいい資料をいただきました。会員のみなさま要チェッ
クです。

中学 そのサイト大丈夫？

いただいた資料の中で「いじられキャラ」がひっかかった。『掃除のたびに大勢で一人の生徒をロッカーに閉じ込め、笑ってはやし立てる子たちがいる。最後は、閉じ込められた生徒がロッカーからおどけて飛び出して終わる。』

週間金曜日 944号より 遊びと区別しにくいじめ。難しい問題だ。

テレビでもいじられて喜ぶみたいな事がよく放送されている。大人である自分でもこんな事言われたら傷つくだろう。まして、感受性の高い子どもはもっと傷つく。自分に置きかえて考えて行動して欲しいし、きついときは、ぜひ、周りの誰かに相談して欲しい。

日々進化する携帯・ゲームなど様々なメディアについて知る学習が大切になってきている。

安日泰子さん

分科会発表お疲れ様！1994年から大学生へ講話をしていく中で、年々進化している。女性が考える「男性の悩み」・男性が考える「女性の悩み」などアンケートをして、フィードバックしていく。あなたのそばに居る女性(男性)の悩みを知って欲しい。メディアに影響されていない？と考えてもらう。同年代から出た言葉に刺激を受けて、変容へつながっていく。

アンケート結果から、どちらも「思いやる気持ち」が大切だと思っており、「言葉で伝えていかないとわからない」そして「きちんとYES、NOが言える」大切さに気づいて欲しい。中でも、「NO」を言う練習が必要と。

分科会で、異性愛を前提としていることを、指摘されたそうですが、これは導入で、学生対象の講座全体としては「多様な性のあり方」を大きな目標として設定されています。

講座を受けて、自分が男でも女でも、性愛の対象が同姓でも異性でも、「思いやる気持ち」が大切であり、「きちんとYES、NOが言える」大切さに気づいて、「支配・被支配の関係」ではない関係作りをして欲しいと思います。